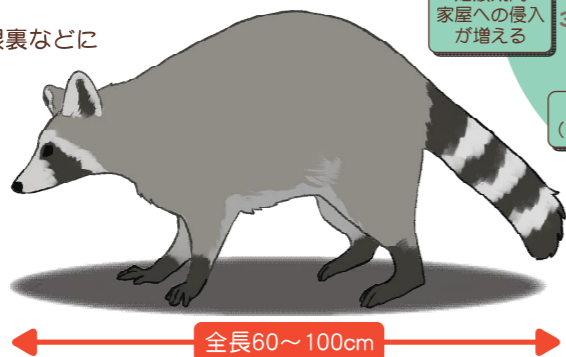
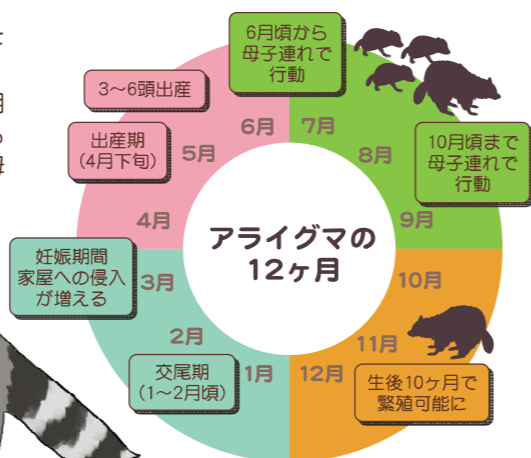


アライグマの生態

- 北アメリカ原産、日本には主にペットとして輸入され定着
- 気性が荒く、人に危害を及ぼすこともある
- 寄生虫や感染症を媒介する
- 体重4~10kg、タヌキよりも少し大きい
- 尾は長く(25~30cm)黒いリング模様がある
- 雑食性で、動物も植物も食べる
- 樹の洞や、地中の巣穴、家屋の屋根裏などにねぐらをとる

- 年に1回、3~6頭の子を産む
- 1~2月頃に交尾し、4月下旬頃に出産、春から秋にかけて、幼獣は母親と一緒に行動する

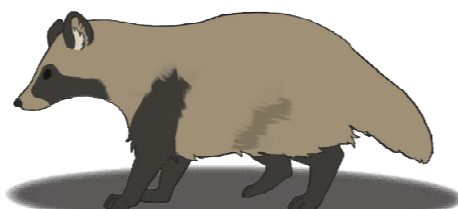


類似種との区別



ハクビシン

- アライグマより小型(体重3kg程度)
- 顔の真ん中に白い線がある
- 尾は長く、縞模様は無い



タヌキ

- アライグマよりやや小型(体重3~5kg)
- 尾は短く、縞模様は無い

農作物被害

アライグマ

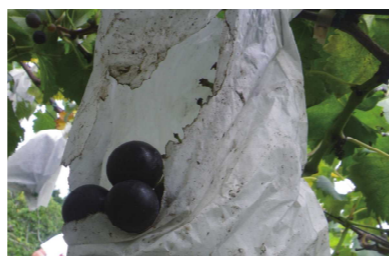
アライグマは果実やトウモロコシなど、甘みのある農作物を好みます。手先が器用なのでタヌキやハクビシンなどとは異なった被害をもたらします。



スイカは、500円玉程度の穴をあけ、中身を掻き出して食べる。



トウモロコシは、両手を使い、皮をむいてきれいに食べる。



ブドウは、袋の口が大きく開くか、裂けるような穴が開く。皮は残さず食べる。袋に泥が付く。

ハクビシン

トウモロコシの茎を斜めに倒し、比較的きれいに実を食べる。



タヌキ

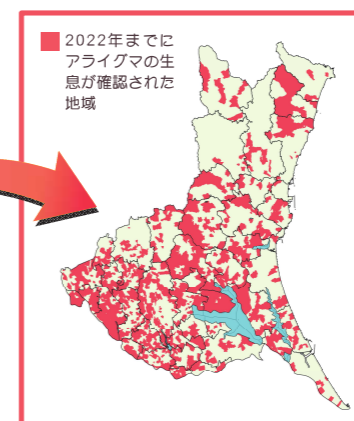
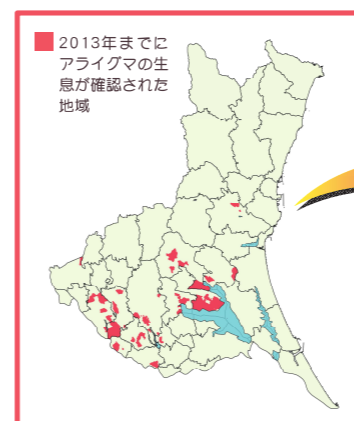
皮ごと実にかじりつくので食べた後が汚い。



アライグマから農作物を守る! 被害防止マニュアル

茨城県でアライグマによる農作物被害が発生中!!

わずか10年でアライグマは全県に!



茨城県内では、現在アライグマの捕獲頭数が増加しており、農作物への被害も拡大傾向にあります。本マニュアルは、「令和4年度茨城県アライグマ等による農作物被害状況及び対策に関する調査業務」による調査結果から、アライグマの生態や効果的な対策について取りまとめたものです。地域での被害防止対策の参考としてお役立てください。

正しい知識を持って、アライグマ被害を防ごう!



アライグマは雑食性で植物も動物も食べます。しかも、手先がとても器用で物を掴むことができます。木登りも巧みで、ネットや柵も登ってしまいます。そのため従来の被害対策ではアライグマには通用しません。アライグマによる被害を防ぐため、正しい知識を身につけましょう。



アライグマの被害対策① 環境整備

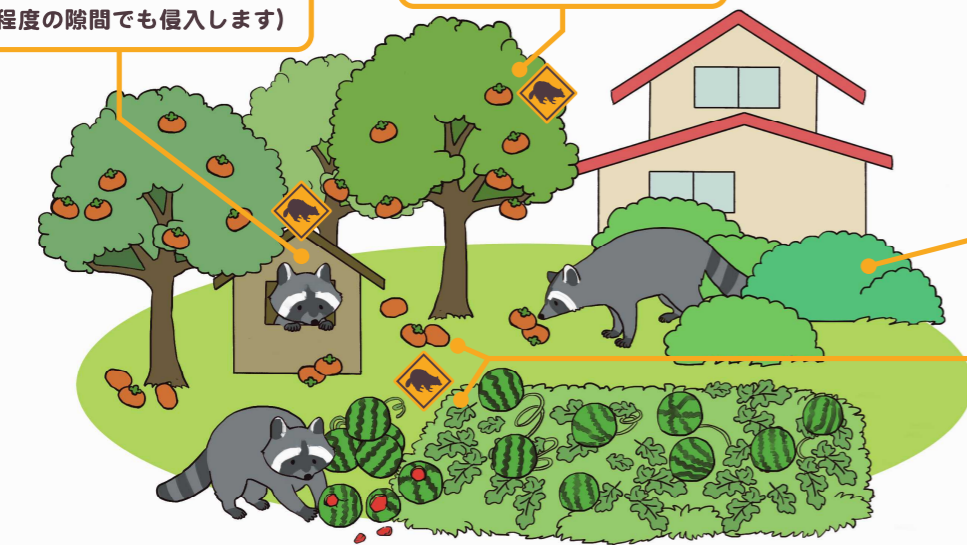
アライグマが好きなものは、①甘みのある作物、②身を隠す茂み、③隠れ家となる小屋や廃屋、です。こうした環境が整ってれば、アライグマにとって楽園です。

小屋や廃屋への入口はふさぐ
(6cm程度の隙間でも侵入します)

収穫しない果樹などは伐る

農地周辺の藪は刈り払う
(見通しをよくする)

廃棄作物や生ごみを放置しない
(頑丈なコンポストなどに入れて管理する)



気づかないうちにアライグマの楽園を作り出していませんか？

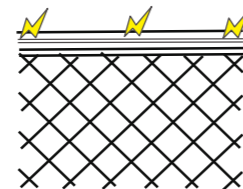
アライグマの被害対策② 侵入防止

農地へのアライグマの侵入を防ぐには、電気柵が効果的です。ネット柵や金網柵ではアライグマやハクビシンの被害は防げません。

ハウスへの侵入を防ぐため電気柵で囲う

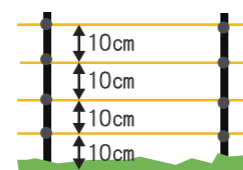


- ✓ 電気柵は被害を受けやすい作物（トウモロコシ、果樹など）のみを対象にする
- ✓ 電気柵は収穫前から収穫終了までの期間のみ設置する
- ✓ アライグマは夜行性ですが昼も稀に活動するので、24時間通電する
- ✓ 設置期間中は電気柵の周囲の草刈りなど、適切な管理を心掛ける
- ✓ 一般的な電気柵以外にも、管理がしやすい中型獣用電気柵もあります



中型獣用電気柵

上部のみに通電部があり、設置や管理がしやすい



一般的な電気柵

アライグマなどの中型獣類の侵入を防止するためには10cm間隔で4段張りが必要です

正しい方法、適切な時期に電気柵を設置することで、効率的に被害を防ぐことができます。

アライグマの被害対策③ 捕獲

環境整備や侵入防止により、被害を防ぐことはできますが、それだけではアライグマは減りません。アライグマは海外から連れてこられた外来種であり、外来生物法によって「特定外来生物」に指定されています。アライグマは農作物のみならず生態系に対しても悪影響があるため、根絶を目指して捕獲を進める必要があります。

効果的なワナの設置場所

アライグマは家族群で暮らしているため、複数のワナを使って一気に捕ることが効果的
2週間程度、捕獲が無ければ場所を変える

電気柵を設置せずに被害を受けた農地周辺にワナを設置しても効果は低い
アライグマの通り道（けものみちや藪・林・水路や建物の際）に設置すると良い

電気柵を設置した周辺にワナを置くと効果的

日陰が良い
ワナの上や両脇を板で囲むとより良い



アライグマは力が強く、捕獲された後でワナを破壊して逃げることがあるため、弱い部分は結束バンドなどで補強を



使用したワナは洗浄する
高圧洗浄機などを使って、手を触れないように洗うと良い

効果的なワナの管理方法

設置したら一度踏み板を押して動作確認
動作が鈍かったり、入口が閉まりきらない場合には調整を

ワナがぐらつないように、設置場所はならして、杭で固定



できれば餌はワナの上部に吊ると良い

餌は甘い物や油で揚げた物が良い（揚げパンやスナック菓子など）
農作物に被害がある場合には、作物を電気柵で囲って被害作物を餌にすると良い

捕獲を希望される場合には、お住いの市町村の担当課にご相談ください。